

# 令和5年度スマートモビリティチャレンジの方向性

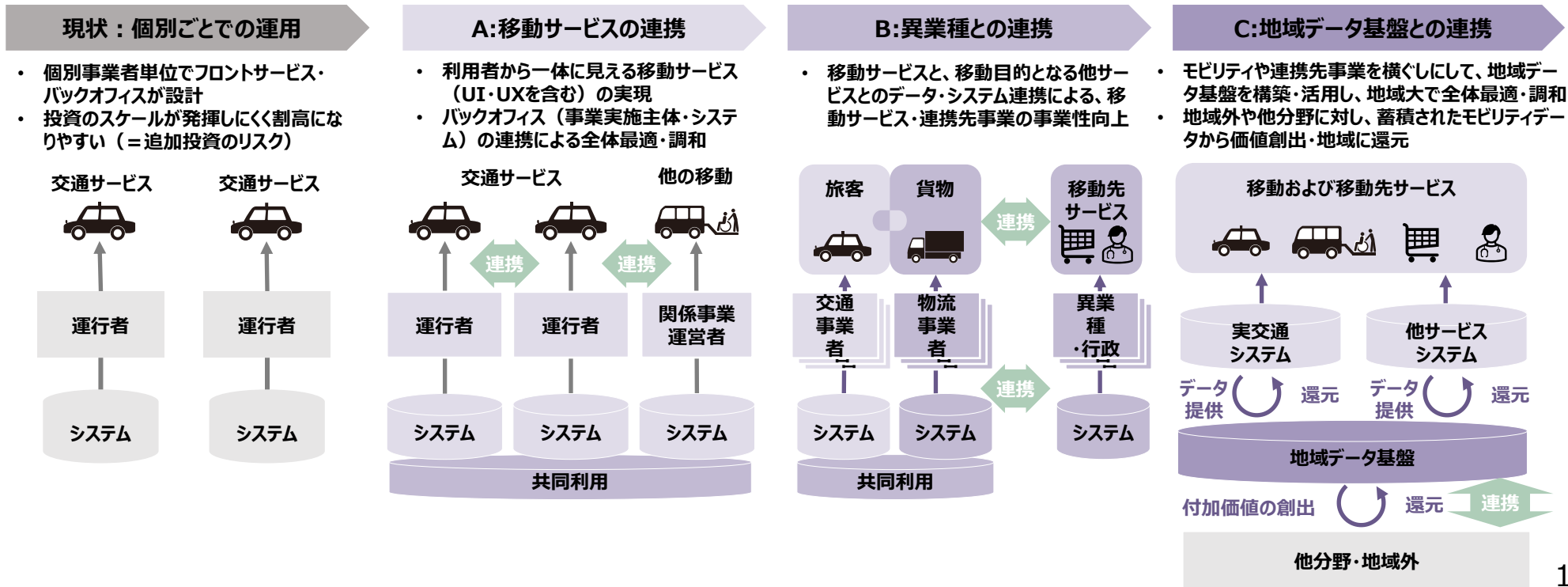
令和5年3月

経済産業省 製造産業局自動車課

# 令和5年度の取組の方向性

- 新たなモビリティサービスの黎明期とも言えるこれまで4年間の取組では、どういったモビリティサービスがあるのか？やどういったプレイヤーがいるのか？を掘り起こす観点から、サービス類型ごとに公募テーマを細分化して、事業を実施。それにより、様々な事例・知見の蓄積も進んできた。その一方で、本事業を通じて社会実装への道筋を確立していくためには、これまでの取組では不十分であり、今後、採択件数を減らしつつ、各案件について成果・課題検証の強度を上げていくことが必要。
- そうした観点から、令和5年度においては、交通を入口とした地域リソースの全体最適化に向けたアプローチの違いに基づき公募テーマを大括り化し採択件数を減らすとともに、各テーマごとに幅広いフェーズの事業を採択する。

## 交通を入口とした地域リソースの全体最適化の流れ



# 事業の採択イメージ

現状・打ち手

現状：  
各事業者が独自に  
最適化・サービス提供

レイヤーA  
移動サービスの連携

レイヤーB  
異業種との連携

レイヤーC  
地域データ基盤との連携

**【ポイント①】**  
地域新MaaS事業と  
データ利活用事業を統  
合するとともに、公募  
テーマを大括り化

テーマ①：  
移動サービスの最適化

- ・地域における最適な移動サービスの検討と、実現に向けた体制組成・交通再編 等

テーマ②：  
移動サービスと異業種・移動先の連携

- ・異業種と連携した新しいモビリティサービス（貨客混載・医療MaaS等）の検討と、実現に向けた体制組成
- ・移動サービスと移動先サービスが一体となった事業運営の検討（移動先店舗との収益連携等）と、実現に向けた体制組成 等

テーマ③：地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用

- ・交通サービスの効率化に向けた複数の交通事業者間でのバックエンドシステムやデータの連携・共通化の検証 等

- ・移動目的地（購買・医療等）側サービス事業者と、移動サービス事業者間のシステム・データ連携における課題抽出、効率化効果の検証、分析結果を用いた業務更新・改善 等

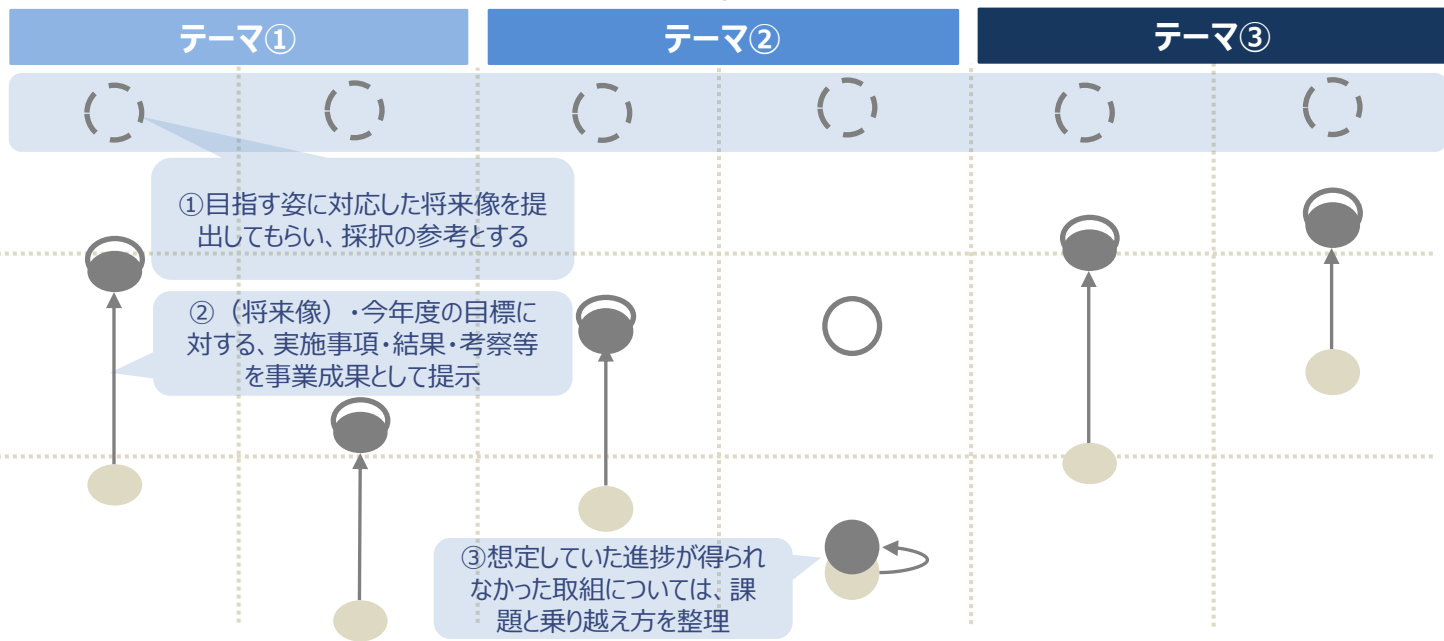
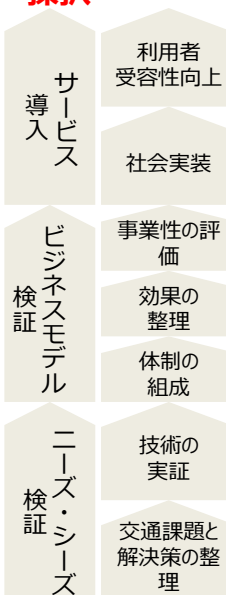
- ・地域データ基盤の構築に向けた要件定義
- ・モビリティデータの分析による新たな付加価値の創出、創出付加価値提供先の新規開拓 等

**【ポイント②】**  
幅広いフェーズの事業を  
採択

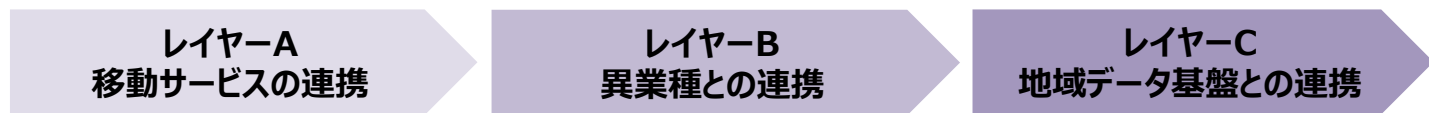
スマートモビリティチャレンジ  
での対応

実装

構想と実証



# 参考：令和4年度の事業・テーマ区分との比較



令和4年度

地域新MaaS創出推進事業

地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用推進事業

<p>A：他の移動との重ね掛けによる効率化</p> <p>C：需要側の変容を促す仕掛け</p>	<p>B：モビリティでのサービス提供</p> <p>D：異業種との連携による収益活用・付加価値創出</p>	<p>テーマE： モビリティ関連データの取得、交通・都市政策との連携</p>
<p>テーマ① 異動サービス間のデータ・システム連携</p>	<p>テーマ② 異業種間のデータ・システム連携</p>	<p>テーマ③： 地域データ基盤の構築・活用</p>

令和5年度

地域新MaaS創出推進事業

<p>テーマ①： 移動サービスの最適化</p>	<p>テーマ②： 移動サービスと異業種・移動先の連携</p>
<p>テーマ③： 地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用</p>	